

卒業生が 学生生活を 振り返って 思うこと



卒業生の皆さん、ご卒業
おめでとうございます。

皆さんは、新型コロナウイルス
の流行が始まって間もない2020年4月に入学し、オンライン授業への切り替えや課外活動の自粛を余儀なくされるなど、さまざまな制約の中で過ごすことも多かったと思います。

しかしその毎日を経験したことで、これからの時代を生き抜く力が培われたはずです。

環境が変わりゆく中で当時感じていたことや、卒業する今の気持ちをポストしてもらいました。



lotus

@環境都市工学部

入学した時、新型コロナウイルス流行の中であり、初めから全てオンライン講義であったこと。入学式もなく、同じ学部の仲間や教授の顔さえわからないまま講義を受け心配だった。

2020/4



たまご

@政策創造学部

オンライン授業さいっこー！
Zoomで友達できた！

2020/5



まっつ

@政策創造学部

1年次生前期、初めてのオンライン授業、初めての成績発表。

大学の授業を甘く見てしまっていたことが原因で人生で初めて単位を落とすという経験をしました。人見知りの自分からすると、オンライン授業で行われたZoomでのグループワークがかなり大変でしたが、卒業する今では良い思い出です。

2020/9



こーじ

@化学生命工学部

私の大学生活を振り返ると、多くの人々に支えられたと感じます。特に部活のリーグ戦の時には、応援団の皆さんからの応援が私にとって大きな力となり、普段以上の力を発揮できました。この経験から、社会人になった際には、誰かを支える存在になりたいなと感じました。



2021/4

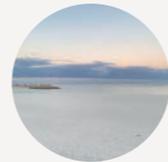


あか

@法学部

語学の期末テスト前、図書館にこもって勉強したの、懐かしい、

2021/7



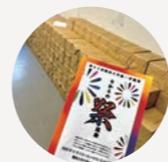
フナ

@システム理工学部

コロナの規制も緩和されたころ、対面授業が始まり理系の勉強と部活の両立でとても大変でしたが、どちらも妥協することなく頑張りました。その結果、良い成績を取ることができたため、入りたい研究室にも配属され、良い環境で研究ができています。そこでたくさんの友人にも出会い、今とても幸せです！



2022/1



ゆうま

@社会学部

第45回関西大学統一学園祭！
3年ぶりの対面での開催。当日を迎え、直接お客さまの笑顔を見られてうれしかったです。今までの全ての思いが込み上げ、後夜祭での花火に涙しました。出会えた仲間へ感謝！！



2022/11



しづ

@外国語学部

自分の可能性を決めつけず、新しいことに挑戦して良かった！



2022/11



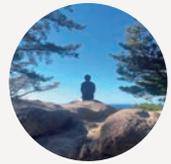
きい

@文学部

教育実習が一番の思い出です。
入学時は、教職課程がうまく履修できるのか不安でした。また、全国的に教育実習は中止され、違う形で単位認定されるといった状況でした。その中で、私が4年次生の時はコロナウイルスの影響を受けながらも実施することができました。つらい日もありましたが、関大での学びが生かされ、とても楽しかったです！



2023/5



しんきち
@経済学部

日本一高い山、富士山に登りました。とてもとてもつらい登山を乗り越えた先には、努力した人しか目にすることのできない光景が広がっていて、とても感動しました。



2023/9



Recruit
@外国語学部

コロナにより、思い描いていた留学もなくなり、満足する学生生活を送ることができていませんでした。そのような中、最後に学生生活において大きな影響を与えたのは「ゼミ」でした。このゼミによって得られた全ての経験は私の財産となり、人生における非常に重要な1ページになりました。ゼミの先生、友人たち、本当にありがとうございました。



2023/9



tau
@法学部

人間関係をないがしろにしてしまった時期があった。どうしても孤独で、つらかった。でも、今こうしてゼミの仲間と居酒屋で笑えていることが幸せだ。彼らが僕を救ってくれたように、僕も強くて優しい社会人になりたい。関西のノリは刺激が強すぎたけれど、今やそれさえもいとしい。

2023/12



ジャージャー麵
@社会安全学部

中国四川省に行ってきたあー！！
中国の伝統文化や現地学生との交流を通じてめちゃくちゃ中国が好きになった。もう一度行きたい！



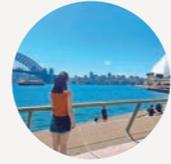
2023/12



まい
@社会学部

ゼミの先生選びは慎重に。
長い間おんなじ先生の下で授業を受けるので、しっかり先輩の意見とかも聞いた方がいいと思います。

2024/1



ゆり
@文学部

これらはコロナによって留学を延期し、約3年間連絡を取り続けていたホストファミリーと友人に会いに行った卒業旅行の際の写真です。私の誕生日をみんなで過ごし、そしてオーストラリアならではの体験を2週間毎日堪能できたことで、一生忘れられない旅と出会いとなりました！



2024/1



ほのか
@総合情報学部

学業と部活動の両立を目指し、悩みながらも挑戦し続けたことで新しい自分に出会えました。教育実習にチャレンジしたことや、体育会水上競技部で水泳をやり切ったことなど、目の前のことに全力で挑戦することで、自分が本当にやりたいことを見つけることができました。



2024/1



らいと
@人間健康学部

大学4年間は部活動、教職免許取得、ゼミ活動での漫才に全力を注ぎました。部活動は陸上ホッケー部に所属し、4年次には部員40名ほどの中でキャプテンを務め、全国ベスト8を達成しました。教育実習では母校の高校でホッケー指導や、授業作り、生徒との交流を通してさまざまなことを学びました。卒業研究では教育と漫才を融合して研究を行いました。



2024/1



ニキ
@商学部

2024年卒の学生たちはコロナ真っただ中に入学した代である。高校時代、受験勉強に励み入学した大学だが、最初はまさかの全てがオンライン授業。仕方がない部分もあったが、どこかやり切れない気持ちがあった。しかし今ではかけがえのない友がいる。あの期間を乗り越えてできた絆は一生モノである。最高の大学生活だった。皆、ありがとう。

2024/1

ボランティア活動のスズメ

「ボランティア」と聞いて、どんなイメージを持ちますか? 「社会や人のため」「被災された方に寄り添いたい」「仲間づくり」、もしくは「ちょっと敷居が高そう」など、さまざまでしょう。総務省の調査^(※1)によると、国内でのボランティア行動者数は約2,005万6千人(行動者率17.8%)^(※2)とありますが、関大生の意識はどのようなものでしょうか。変化の多いこの時代、ボランティアの意義や、私たちにできることを一緒に考えてみましょう!

※1 「令和3年社会生活基本調査の結果」(総務省統計局)より引用
※2 2020年10月20日から2021年10月19日までの集計

ボランティア活動に関するアンケート

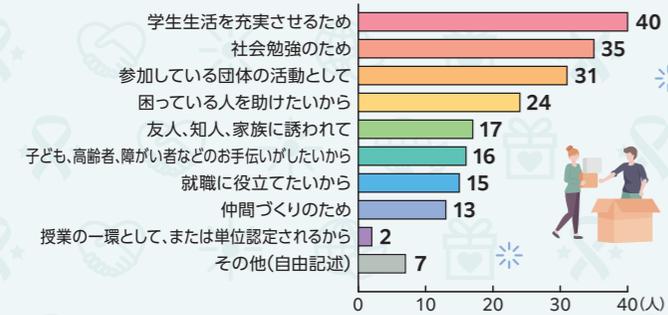
アンケート期間：2023年12月25日～2024年1月21日 対象者：学生 回答者数：122名



Q2 どんな分野で活動をしましたか? 当てはまるものを選んでください。(複数回答可)



Q3 ボランティア活動に参加した理由を教えてください。(複数回答可)



ボランティア体験学生インタビュー



みずおち ゆうた
水落 勇太 さん
(法学部2年次生)

忘れられない「ありがとう」の一言

大学に入塾して初めて参加したボランティア活動は「献血への呼び掛け」でした。人前で声を掛けるのは少し恥ずかしくもありましたが、大学では自分にプラスになることがあれば何でもチャレンジしたいと思っていましたので、ボランティア活動はとても熱中できるものとなりました。昨年度は琵琶湖の外來生物を

Q4 ボランティア活動をしたことがない理由を教えてください。(複数回答可)



Q5 今後やってみたいボランティア活動の分野を教えてください。(複数回答可)



駆除するボランティアや、飛鳥ハーフマラソンの給水ボランティアに参加しました。その時、皆さんからの「ありがとう!」の一言で、疲れが吹っ飛びました。この達成感言葉で表すことができないほどうれしいもので、ぜひ皆さんにも味わってほしいです。ボラ

ボランティア体験学生インタビュー



あそりこ
阿蘇 麗胡 さん
(法学部4年次生)

地元姫路が大好きです!

姫路で生まれ育った私にとって、ボランティア活動を始めたきっかけも「姫路」です。高校時代に世界遺産・姫路城のボランティアスタッフとして外国人観光客の案内を経験し、昨年度はお城おもてなしボランティアとして「千姫」に扮して、観光客の皆さんと一緒に記念写真撮影を行う機会に恵まれました。また、学内ボランティア団体に所属し、キャンパス内では花植

世界のボランティア

ここで世界に目を向けてみましょう。イギリスの慈善団体Charities Aid Foundationの調査による世界寄付指数(2023年度)のランキングにおいて、142カ国中トップはインドネシア(68%)、2位にウクライナ(62%)、続いて3位はケニア(60%)という結果に。このデータは、「見知らぬ人を助けたいか」「寄付をしたか」「ボランティアをしたか」の3つの項目を総合して数値を算出しており、日本はワースト4位の139位(18%)でした。

文化的背景と、ボランティアに対する意識の違いには関係があるのでしょうか。そこで、ボランティア活動経験のある留学生、ウォン・ギングアンさん(社会学部3年次生)にお話を伺ってみました。



● ボランティア活動を始めたきっかけは?

「マレーシアの高齢者施設でお手伝いをしたのが始まりです。母が中心となって親戚と一緒に活動をしていました。」

● 日本でのボランティア活動について

「知的障がい者施設で1年間働いたことがあります。今は、知人に紹介されて無料塾の講師をしていて、小学生から中学生までの支援をしています。勉強を教えるだけでなく、会話の相手になる役割も大きいです。」

● ボランティア活動を通じて得られるものは何ですか?

「何といても人とのつながりが広がることです。私のケースだと、活動をする中で、幅広い年代の方と会話をしながら日本人の考え方を知ることができました。それが学業にもつながっています。」

● 日本の若者をはじめとする人々のボランティアに対する意識の違いについて

「宗教観の違いはあるかもしれませんが、日本は忙しい人が多く、時間や費用が必要なボランティア活動には参加しにくいかもしれません。社会が福祉にもっとお金をかけられるようになるといいですね。マレーシアでも福祉施設は主に民間やNGOが運営しています。」

● これからボランティア活動をやりたい学生に向けてメッセージ

「ボランティアや、一人一人ができることをすることで、社会を温めることができると思います。まずは関心を持ってもらいたいですね。」



琵琶湖での環境ボランティア

千姫に扮する阿蘇さん



将来にわたるボランティア活動のすすめポイント

- ・社会課題に関する意識の高い人材を求める企業が増え、ボランティア活動を推奨している。
- ・厚生労働省が企業に対してボランティア休暇制度の導入を促進している。

ボランティアに興味のある方は気軽にお越しください! 職員と学生スタッフが親身に対応しています。

- 凜風館1階 「ボランティアセンター」
- 誠之館2号館1階 「ボランティアステーション」

コーディネイト受付時間
月～金 12:10～12:50

関西大学ボランティアセンターのウェブサイト
<https://www.kansai-u.ac.jp/volunteer/>



PROFESSOR'S COMMENTS

学生センター所長／ボランティアセンター長
化学生命工学部 松村吉信 教授

日本には、頻発する災害や孤立する高齢者・子ども・社会的弱者、過疎化、環境問題、増える犯罪など、援助が必要

な課題が山積みです。国や行政もさまざまな対策をしていますが、手が届かない、見えにくい課題も多いでしょう。今回のアンケート結果から、多くの学生が社会の問題点を認識し、少しでも役に立ちたいとボランティア活動に参加している一方で、余裕がなく、活動に参加できずにいる学生も少なくないことがわかります。一度、身近なところで体験するのも良い機会かもしれません。

ボランティアセンターでは、「ボランティアの魅力に関大生に伝えたい」と強く思う学生スタッフと教職員が「大学生の間に一度はボランティアを体験しませんか?」を合言葉に、さまざまな「ボランティア体験ツアー」を企画しています。ボランティア初心者の方、ボランティアセンターウェブサイトやボランティアステーション、ボランティアセンター事務室にお越しください。同じ気持ちの仲間に出会えることでしょう。

次回のテーマは…「薬物について」

最近、若者を中心とした違法薬物の所持・乱用による事件・事故がニュースなどで取り沙汰されています。私たちの身近なところにも、危ない誘惑があるかもしれません。皆さんの健康と安全を守るために、4月号では違法薬物が及ぼす悪影響や関係する法律について、一緒に学びましょう。

式次第で振り返る卒業式

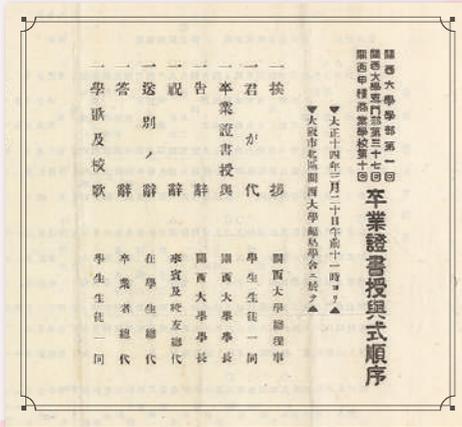
学部卒業式の第1回は福島学舎

関西大学の前身である関西法律学校が第1回の卒業式を挙げたのは1889年9月16日のことです。17人の卒業生が所定の学業を修め、証書が授与されました。

その後、興正寺(大阪北区河内町)、江戸堀(大阪市西区)に校舎を移転した後、1906年に福島学舎を建設します。1922年に大学令による関西大学が認可されると、1925年3月20日に学部として初めての卒業式が専門部、関西甲種商業学校(現在の関大一高)と合同で行われました。卒業生は学部が56人、専門部が351人、関西甲種商業学校が134人でした。



▲1926年3月開催の卒業式(福島学舎)



1925年の式次第

新制大学初の卒業式

1950年の卒業式では、式の始まりを「^{きよしほ}擧式の旨を告ぐ」、式の終わりを「閉式の旨を告ぐ」と物々しい表現の式次第となっています。1948年に新制大学に移行した後は、新制大学卒業生と旧制大学卒業生が在籍していたことから、卒業式では学部ごとに旧制卒業生に証書を授与した後、新制卒業生に証書を授与していました。



1950年の式次第



▲法文学舎(現第1学舎)講堂で行われた卒業式(1963年)

「学理と実際の調和」で卒業生を祝う

1923年3月の卒業式には山岡順太郎氏が総理事として初めて告辞を述べました。強いリーダーシップを発揮して大学昇格に尽力した山岡総理事は、告辞で「身体の健康」「人格の向上」「思想の鍛錬」「学術研鑽の結果を実化する」「国際的知識の涵養」の5つを実現することが国家社会に貢献する道であると述べました。また、山岡氏が提唱した「学の実化」の中心的な考えである「学理と実際の調和」を述べて、卒業生の前途を祝しました。



3月は卒業の季節です。創立から130年以上の歴史がある本学では、これまでさまざまな形式で卒業式を挙げてきました。そこで今回は、「式次第」をキーワードにして、過去の卒業式はどのような内容で挙行されていたのかを、大学の歴史を振り返りながらまとめました。

学生増に対応して1日3回開催

大学は1958年に工学部(現在のシステム理工学部、環境都市工学部、化学生命工学部)を設置。年々増加する学生数に対して会場の収容人員に限度があることも関係したのか、4年後の1962年の卒業式は1日に3回(開式時間は午前10時、午後1時、午後3時)行われましたが、体育館が完成したことにより1日3回の形式は2年で終了。次に1日3回の卒業式が行われたのは15年後の1978年からで、天六キャンパスも使用されていました。

開式時間は千里山キャンパスが午前10時と午後1時、天六キャンパスは午後5時30分開始で、卒業生数は第1部(千里山)で4,139人、第2部(天六)で396人でした。この形式での卒業式は1995年まで続きました。



1978年の式次第

天六学舎で行われた第2部の卒業式(1987年頃)



◀後輩に胴上げされる卒業生(1987年)

キャンパス増とともに学部は13に

大学は、高槻キャンパスに総合情報学部、高槻ミュージックキャンパスに社会安全学部、堺キャンパスに人間健康学部を設置して現在の13学部となりました。

その後、第2部を2003年に廃止したことにより、2007年からは全学部の卒業生が千里山キャンパス体育館に集まり式典が挙行されました。この頃、父母の参加者が増加の一途をたどり、会場に全員が収まりにくくなったため、学生と父母は別々の体育館に分かれて出席しました。

コロナ禍を経て、次の時代へ

新型コロナウイルス感染症の影響で卒業式も混乱しました。2020年は全体の卒業式は取りやめ。学部ごとに分散しての開催となり、千里山キャンパスだけでなく、高槻キャンパス、高槻ミュージックキャンパスおよび堺キャンパスを使用するようになりました。2021年は学部からの登壇者と代表学生が出席し対面とオンライン併用型で卒業式を挙行。初めてYouTubeでライブ配信を行ったのもこの年です。2022年になると新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら3年ぶりに対面での式典を挙行しました。

現在、多様性の時代を迎え、卒業式においてもユニバーサルデザイン化を一層推し進めていくことが求められています。グローバルな社会を生き抜く力を本学で養い、夢の実現に向けて強い意志を持って卒業していく学生たち。本学の学是である「学の実化」を実現していく卒業生を、これからも応援していきたいものです。



▲2023年3月開催の卒業式

学部・研究科・併設校トピックス

法学部 / 法学研究科

「AI社会」を生きる

卒業生、修了生の皆さん、おめでとうございます。「Chat (チャット) GPT」が公開されてはや1年。生成AI (人工知能) は、人間の生産性や創作活動を飛躍的に高め、専門家の高度な作業までこなし始めました。一方、著作権侵害や真偽不明の情報の流布、学力向上を阻害するのはとの懸念も示され、賞舌錯綜の年でした。AIに支配されず、AIを活用しつつも、自分の主体性、強みをどう伸ばせるのか。大学で学んだことを糧に、自分の頭でしっかり考え、たくましく生き抜いてほしいと思います。

(副学部長 山名美加教授)

文学部 / 文学研究科 東アジア文化研究科

未知なる自分に向けて

卒業・修了を迎える皆さんの多くは、在学中に著しい成長を遂げた実感があると思います。とりわけ、各自の研究成果を学位論文にまとめる作業は、幾度も小さな壁にぶつかってはそれを乗り越えることで自らもいわば脱皮を遂げるような、喜ばしき体験でもあったはずです。

学ぶことに終わりはありません。今後も弛まぬ学びを通じて知性に一層の磨きをかけ、今のあなたには想像も及ばないような未知なる自分への生成変化を果たしてほしいと切に願っています。

(副学部長 堀潤之教授)

経済学部 / 経済学研究科

人生に幸多かれ！

卒業生、修了生の皆さん、おめでとうございます。皆さんが関西大学で過ごす中で、コロナ禍や世界情勢のさまざまな変化、AIの進展など、社会は思いもよらない出来事に直面しました。その度に自分と向き合っただけでなく、勉学に励みながら、これからの複雑で予測不能な時代を生き抜く力を十分培ったと思います。その力を基盤として、多様性や文化的背景の異なる人々を理解し、人々と協働しながら新しい智恵を生み出し、次世代を担ってくれると信じています。

皆さんの人生に幸多かれとお祈りしています。
(副学部長 土居潤子教授)

ご卒業おめでとうございます。

このコーナーでは、各学部・研究科・併設校の活動やメッセージを掲載しています。

商学部 / 商学研究科

チャンス到来

商学部の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

皆さんの大学生生活はコロナ禍の影響を受け、当初思い描いていた大学生活ではなかったかもしれません。コロナ禍は皆さんの大学生生活だけでなく、在宅勤務の拡大など今後の働き方や社会の在り方にも大きな変化をもたらしました。一見、この変化は悲観的に考えられがちですが、チャンスと捉えることもできます。社会の変化は常にチャンスに遭遇する機会をもたらします。このチャンスを逃さないでください。

(学部長 岸谷和広教授)

社会学部 / 社会学研究科

「自分」の力を信じて活躍を！

卒業生・修了生の皆さん、おめでとうございます。

社会学部・社会学研究科で過ごした日々の中で、皆さんの記憶に残っているのはどんなことでしょうか？ 私たちはいくつになっても、20代の記憶を最も鮮やかに思い出すといわれています。それは、その年頃に「自分はどんな人間なのか」を模索し、「自分らしさ」を確立していく時期だからです。希望に満ちた未来は既に現在の皆さんの中に芽生えています。皆さんがそれぞれの「自分」の力を発揮して社会で活躍されることを信じています。
(学部長 関口理久子教授)

政策創造学部 / ガバナンス研究科

社会に羽ばたく卒業生、修了生へ

ご卒業おめでとうございます。大学・大学院からの卒業や修了は、自立した職業生活への第一歩です。それは自らの仕事や業務に対して責任を担っていくことです。こうした責務を一つ一つ果たしていくことが、周囲から信用される礎、貴重な財産になります。大学・大学院で身に付けた専門知識や思考方法、そして定見を生かして、この財産を積み上げてください。

皆さんの今後の飛翔を期待しています。
(副学部長 石田成則教授)

外国語学部 / 外国語教育学研究科

冒険者たれ！

Congratulations on your graduation! よく頑張った人生の旅路をこまめでたどり着きました！ 次のステージに進むことに不安を感じている人もいるかもしれませんが、楽しいかどうかにかかわらず、新しい経験をjするたびに、新しいことを学び、人間として成長するチャンスが与えられることを忘れないでほしいです。英語のことわざ、「Nothing ventured, nothing gained (冒険をしなければ何も得られない)」にあるように、何か新しいことに挑戦することを恐れずに挑戦してください。まったく挑戦しないよりは、挑戦して失敗する方がよっぽど良いからです。
(副学部長 アンドリュウ・パーク教授)

人間健康学部 / 人間健康研究科

社会に出て知る、知識の大切さ

学部を卒業された皆さん、研究科を修了された皆さん、おめでとうございます。皆さんの学生生活は、コロナ禍で前半に引きこもりを余儀なくされ、後半はできることを詰め込んで忙しかったかもしれません。

とはいえ、人生は社会に出てからが本番です。社会人となり自由が増えた時こそ、それをどう使うかが重要になります。可能性を見出すには知識が必要ですから、これからも学ぶことを忘れず、そして遊ぶことも忘れずに、賢く元気に暮らしてください。

(副学部長 西山哲郎教授)

総合情報学部 / 総合情報学研究科

ご卒業おめでとうございます

卒業生の皆さん、おめでとうございます。皆さんは、大学生として最もコロナの影響を受けた学年で、とても苦勞をされたと思います。しかし、皆さんにはその苦勞をプラスに変える力がありました。

この学年はとても前向きで、活発で、積極的であり続けてくれました。学部長に直談判をしてくれたおかげで、学部登録団体が新たに2つ生まれました。合同オフィスアワーを実施できたのも、皆さんのパワーがあったからこそです。その力を社会でも存分に発揮してください。本当にありがとう。
(学部長 名取良太教授)

社会安全学部 / 社会安全研究科

視点はグローバルに

卒業・修了、誠におめでとうございます。皆さんはこれから人生の歩みを進める中で、世界とますます密接に繋がってゆくことでしょう。現在でも、小麦を使うパンや菓子の価格は海外での戦争の状況に大きく影響されています。自然災害や社会災害を地球規模で説明・解明するように、これからは皆さん一人一人の人生についても地球規模の視点から考えなければならぬ視野を持って、これからの人生を明るく豊かなものにしてください。
(学部長 土田昭司教授)

法科大学院

貴重なことは何なのか

皆さんの修了に祝意を表する季節となりました。光陰矢の如し。ただ、法科大学院修了、司法試験合格など、何ほどのこともありません。そんなことは人間の価値に関係ないからです。実るほど頭を垂れる稲穂かな。成功に自惚れないで。人間万事塞翁が馬、禍福は糾える縄の如し。失敗に卑下しないで。人生業ありや苦もあるさ。くじけりや跡には何もない。後から来たのに追い越され、泣くのが嫌ならさあ歩け。地に足を着け、心折れず、前に進んでください。千里の道も一歩から始まることを信じよう。皆さんの未来に幸多からんことを祈ります。(研究科長 下村正明教授)

関西大学中等部・高等部

第14回葦葉祭を開催

11月10日、11日に第14回葦葉祭(文化祭)を開催しました。テーマは「輝きの再出発(リスタート)」。4年ぶりに一般の方もお招きしました。高等部の舞台演劇や模擬店、中等部の合唱や有志、各部や教科の趣向を凝らした発表、初中高英語発表会や教職員によるサプライズ合唱など、本校初企画も登場。生徒の絆がさらに強まりました。2日間と(高等部教頭 川瀬信子教諭)



システム理工学部・環境都市工学部・化学生命工学部 / 理工学研究科

Look at the Big Picture First

理工系3学部および理工学研究科の皆さん、卒業・修了おめでとうございます。この1年間は卒業論文や修士論文の執筆に向けて研究室に入り浸り、日々研究に励まれたことと思います。

皆さんが取り組んだ「研究」という活動は、皆さん自身で解決すべき課題を設定し、まだ誰も答えを知らない未知の領域を探索するという苦しくも楽しいものであったと思います。皆さんは研究活動の中で幾度となく困難な壁に直面し、その壁を乗り越えることでさまざまな知識や技術を身に付けることができた実感しているの

ではないでしょうか。

物事がうまくいかないと、人はどうしても目先の問題を解決することにとらわれてしまい、問題の本質や本来の目的を見失いがちです。社会人として新たな生活をスタートさせる皆さんは、仕事だけでなく、さまざまな場面で困難に直面することと思います。そのとき、この言葉を思い出してください。「Look at the big picture first」、これは「細かいことばかりに気を取られず、まずは大きな絵画を見上げるように広い視野を持ちなさい」というメッセージであり、大局的な考え方を持

つ重要性を説いています。

何らかの困難に直面したときに、自分を含めたその問題に関わる環境全体を俯瞰的に捉えてみましょう。例えるなら、メタバースで活動するアバターたちが自分と同じ困難に直面している状況をイメージし、客観的かつ多角的な視点から問題解決のヒントを探るような思考です。

大学生生活で培った自分というキャラクターを俯瞰的に操り、新たな世界で活躍されることを期待しています。

(システム理工学部 副学部長 徳丸正孝教授)

Attention 大学からの重要なお知らせ

2024年3月31日をもって関西大学を去られる専任教育職員を紹介します。大変お世話になりました。ありがとうございました。

法学部	中村 知里	商学部	藤岡 里佳	システム理工学部	板東 潔
	藤原 稔弘		水野 一郎		本管 正嗣
	横田 直和		斉藤 了文		山本 靖
文学部	佐藤 裕子	社会学部	高瀬 武典	環境都市工学部	楠見 晴重
	野間 晴雄		水野由多加		佐野 誠
	米田 文孝		山本 雄二		檀 寛成
経済学部	深井 大幹	政策創造学部	奥 和義	化学生命工学部	三宅 孝典
	松下敬一郎		白石 真澄		吉田 宗弘
商学部	荒木 孝治	外国語学部	沈 国威	会計研究科	柴 健次
	西村 成弘		山根 繁		(敬称略)

関大トピックス

卒業する皆さんへのお知らせ

■ 各種証明書の申請

各種証明書(卒業・修了証明書、成績証明書等)は、卒業後も発行可能です。

キャリアセンター梅田オフィス、東京センターでは、指定年度以降に入學された方の和文卒業(修了)証明書、和文成績証明書の窓口受付のみを行っています。

詳細は、「各種証明書の申請」のウェブサイトにてご確認ください。

問い合わせ先 教職支援センター 電話:06-6368-0889

■ 図書館の利用

卒業後も手続きを行えば、図書館(総合図書館、高槻キャンパス図書館、ミューズ大学図書館、堺キャンパス図書館)を利用することができます。

本人の住所確認書類(運転免許証、健康保険証、在留カード、パスポートなど)と発行手数料1,000円をご持参の上、各図書館にお申し出ください。詳しくは、図書館ウェブサイト「卒業生・学外の方へ」にてご確認ください。

問い合わせ先 図書館メインカウンター 電話:06-6368-0266

■ 「進路決定報告」と卒業後のサポート

「進路決定報告」を未提出の方は、至急各キャンパスのキャリアセンター窓口またはKICSSにて報告してください。また、卒業後に就職活動を行う方に対して、引き続きサポートを行っていますので、お気軽にキャリアセンターまでご相談ください。

問い合わせ先 キャリアセンター
電話:06-6368-0162

詳細はコチラ▶



■ 資格取得の支援

各種資格取得を通して皆さんのリスキリングをサポートするために、一般の方より安価な卒業生料金で受講できる講座を開講しています。

詳細は、ウェブサイトをご確認ください。また、講座に関連した情報を公式Instagramで発信していますので、ぜひご覧ください。

問い合わせ先 エクステンション・リードセンター
電話:06-6368-0721

詳細はコチラ▶



■ 奨学金の返還

日本学生支援機構の貸与奨学金を受けた学生は、本人・連帯保証人・保証人および本人以外の連絡先(機関保証)の方の住所・氏名・電話番号・勤務先等に変更が生じた場合、速やかに機構へ報告してください。本人の住所や氏名が不明になると、機構からの通知が届かず手続きが滞ることがあります。報告は、スカラネット・パーソナルや郵送により手続き可能です。詳細は、日本学生支援機構・奨学金相談センター(0570-666-301)にお問い合わせください。

問い合わせ先 奨学支援グループ 電話:06-6368-1121(大代表)

■ 梅田キャンパスの利用

会員の異業種交流サロン「KANDAI Me RISE倶楽部」やブックカフェ内に併設する起業支援拠点「スタートアップカフェ大阪」を利用することができます。

また、社会人向け大学院教育として「海外ビジネスマネジメント講座」「地域政策コーディネーターを養成する大学教育プログラム」などを開講。もう少しライトに学びたい社会人へ向けた多様な学びプログラム「オープンカレッジ」も開催しています。

問い合わせ先 梅田キャンパスオフィス 電話:06-4256-6436
(大学院関係は社会人学び直しオフィス(06-6368-3016))

■ 東京センターの利用

東京駅直結のサピアタワー9階にあるのが、東京センター！在学・教職員・卒業生は、さまざまなシーンで活用が可能です！利用者からは「とても便利・助かった」という声がある一方、「存在をもっと早く知りたかった」という人も…。どうぞ、お気軽にお立ち寄りください。卒業後も、「東京にある母校」としてご利用をお待ちしています。

問い合わせ先 東京センター 電話:03-3211-1670

詳細はコチラ▶



■ セミナーハウスの利用

卒業後も、セミナーハウス「彦根荘(滋賀)」、「白馬梅池高原ロッジ(長野)」、「六甲山荘(兵庫)」を利用することができます。

詳細は、ウェブサイトをご覧ください。

問い合わせ先 関西大学教育後援会
電話:06-6368-0055

詳細はコチラ▶



もよまばなし
関大人

四方山話 ◆ 基礎の1000本ノックを

化学生命工学部准教授

の まさみ
矢野 将文



所属学科の構成員を見たら、上から数えた方が早い年齢になってきた。「この世は順送り」と言うが、自身が若い頃、疎んじていた「年長者の苦言」の一つでも垂れたくなくなる。

私の専門は有機化学であるが、なぜか「暗記科目」だと思われる。優秀な学生なら暗記できるのかもしれないが、それだと学習していても面白くなくなろうとも思う。せっかく縁あって私の講義を受講しているのだから、「あ、有機化学って楽しいな」と

気付いてほしい。最近は「こんなん、丸暗記したらあかんよ。面白くないよ。いっぱい演習を解いたら分かってくるやんか」といろいろな場所で話すようになった。どの学問でもそうだと思うのだが、数をこなして初めて見えてくる世界がある。例えるなら、「基礎の1000本ノック」のような経験が大事だと思う。いっぱい取り組んで、いっぱいエラーして、そのうちに体が覚えてくる経験を通して、学問の基礎体力を身に付けてほしい。

編集後記

今月号の特集では、卒業生に学生生活を振り返って思うことを書いて頂きました。今年度卒業される学生の多くは新型コロナの感染拡大によりオンライン授業が始まった2020年4月入学ですが、届いたコメントもやはり過半数が新型コロナやオンライン授業に関するものでした。実は私も本学に赴任したのが2020年4月で、慣れない環境の中で悪戦苦闘した覚えがあります。ただ、この経験が私たちに様々な学びをもたらしてくれたのも事実です。卒業生のみならずには、コロナ禍で得た学びも糧にしつつ、今後の人生を歩んで行ってほしいですね。(広報委員・文学部准教授 吉川和希)



関西大学通信 “KANDAI STYLE”

発行日:2024年3月19日

発行:関西大学広報委員会

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35

電話:06-6368-1121(大代表)

今月の表紙

今月の表紙を飾っているのは卒業生の皆さんです。授業や課外活動で忙しい中、撮影に協力していただきました。誌面を借りまして御礼申し上げます。本日、関大を卒業されますが、大学で過ごした4年間の思いを胸に社会で羽ばたいていってください。